

東日本ユニオン よこはま

J R 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/小清水和彦
編集者/ 教育・広報部

2022年度駅業務執行体制の再構築についての提案を受ける

25日、横浜支社より『2022年度駅業務執行体制の再構築について』の提案を受けました。提案の説明として効率的な駅業務執行体制を構築することを目的として、販売体制の見直し、営業体制の見直し及びホーム業務体制の見直しを行うと説明がありました。

1. 実施内容

(1) 販売体制の見直し

桜木町営業統括センター(桜木町駅)、熱海駅、武蔵溝ノ口駅、登戸駅、長津田駅、鎌倉駅、伊東駅

(2) 営業体制の見直し

湘南・相模統括センター(茅ヶ崎駅)、桜木町営業統括センター(関内駅)※[お客さまサポートコールシステムの対応時間の拡大]

(3) ホーム業務体制の見直し

横浜駅

2. 周知・教育

必要な周知・教育は実施する。

3. 実施日

(1) 2022年10月1日実施

営業体制の見直し(湘南・相模統括センター[茅ヶ崎駅])

(2) 2022年11月1日実施

販売体制の見直し(桜木町営業統括センター[桜木町]、熱海駅、武蔵溝ノ口駅、登戸駅、鎌倉駅、伊東駅)

(3) 2022年12月1日実施

営業体制の見直し(桜木町営業統括センター[関内駅])

(4) 2023年2月1日実施

販売体制の見直し(長津田駅)

(5) 2023年3月1日実施

ホーム業務体制の見直し(横浜駅)

駅業務執行体制の
再構築について
全組合員で
考えよう!!!

提案交渉で明らかになったこと

- ・再構築についてコロナ前の販売数からはかなり下がっているのが大きな要因。
- ・2020年度では窓口には依らない販売で80%を超えている。(チケットレス)
- ・学生通学定期については、駅係員の設定で券売機での購入が可能。
- ・桜木町営業統括センター(関内駅)お客さまサポートコールシステムは現行の時間帯に加え日中帯にも拡大。
- ・横浜駅(東海道線上下)乗降終了合図の省略は、車掌用ITVモニターを設置。朝晩混雑時の通対は残す。
- ・湘南・相模統括センター(茅ヶ崎駅)の見直しは、相模線ホーム乗客担当(遺失物)を改札に集約する。

・みどりの窓口数の削減

※桜木町営業統括センター(桜木町駅)、熱海駅、武蔵溝ノ口駅、登戸駅、長津田駅、鎌倉駅、伊東駅

・みどりの窓口の営業終了

※国府津駅、港南台駅(2022年8月25日)、久里浜駅(2022年9月7日)、中山駅(2022年12月15日)
長津田駅(2023年1月19日)

※話せる指定席券売機の導入

中山駅(2022年12月16日)、長津田駅(2023年1月20日)